

## 施策の進捗管理シート

令和 7 年度

総合 体系 計画	分野	7	第 7 章	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	施策統括課	行政マネジメント課
	施策No.	1	施 策 名	効果的・効率的な行政経営の推進	課 長 名 (施策統括責任)	笹西 記住
	関係課	総務法制課 財政課 契約監理課 財産活用課 行政マネジメント課 デジタル推進課 DX推進課 都市政策課 用地対策課 市民生活課 市民税課 地域政策課 監査事務局 選挙管理委員会				

### 1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	限られた資源の有効な活用と効率的な行政経営の実践により、質の高い行政サービスを提供している。
取組方針	限られた資源を有効に活用し、効率的な行政経営を推進していくため、その仕組みを充実させ、行政改革の基本方針に基づき、一層の行財政改革に取り組みます。また、広域的な連携の充実を図り、より効果的かつ効率的な施策展開を検討します。

### 2. 施策の意図と成果指標

対象 (誰、何を対象としているのか) * 人や自然資源等	市民、市の行政経営					
意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質の高い行政サービスを提供することにより、市民の満足度を向上させる。</li> <li>・限られた経営資源を有効に活用し、効率的な行政経営を推進している。</li> </ul>					
<b>成果指標 A</b>						
						単位
税金が無駄なく市民ニーズに沿った使われ方をしていると思う市民の割合						%
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標実績
38.0	40.0 39.0	42.0 36.8	44.0 41.8	46.0 36.3	48.0 37.3	50.0 43.2
<b>成果指標 B</b>						
						単位
行政経営推進プラン進捗率						%
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標実績
75.7	80.0 81.9	84.0 86.8	88.0 89.4	92.0 90.7	96.0 91.2	100.0 91.1

### 3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	42.8%	40.2%	↓
ある程度重要である	44.8%	47.3%	↑
あまり重要ではない	4.8%	6.6%	↑
重要ではない	0.3%	0.5%	↑
順位	21/36位	21/36位	➡

施策の満足度	前回	今回	
満足している	2.5%	3.1%	↑
どちらかといえば満足	43.7%	51.2%	↑
どちらかといえば不満	29.8%	26.1%	↓
不満である	4.7%	5.2%	↑
順位	18/36位	18/36位	➡

#### 4. これまでの取組・成果

- ・H28策定の行政経営推進プランに基づき、「組織力の強化」「サービスの質の向上」「健全財政の堅持」「地域力の向上」を柱として各分野の目標を定め推進し、あわせて行政評価を基にして、事業の廃止や見直しの検討を進めるなど、経営の仕組みの充実に努めてきた。
- ・電子申請や電子契約などDXによる行政サービスの効率や利便性の向上を図るとともに、佐賀市公式スーパーアプリの導入・機能拡充等に積極的に取り組み電子自治体化を推進してきた。
- ・公共施設等総合管理計画及び実施計画（アクションプラン）に基づき、公共施設等の最適配置のために、久保田支所や諸富支所の複合化等を実施してきた。さらにR5年に公共施設マネジメント推進会議を設置し、再編等の検討を進め、R6年度には公共施設白書を策定し、さらなる公共財産の適切な取得・管理につながるよう努めている。
- ・DXによる行政手続きの簡素化や事務負担の軽減を目指し、書かない窓口や支所におけるリモート窓口の設置など、効率的な窓口サービスの提供に努めた
- ・広域行政の充実に努めるため、近隣市町と情報共有に努めている。

#### 5. 指標の達成状況に関する分析

- ・「税金が無駄なく市民ニーズに沿った使われ方をしていると思う市民の割合」：コロナ禍において、様々なコロナ交付金の使途により、市民の受け止め方に差がでたと考えられるが、R6は目標である50%に到達しなかったものの、基準年度より5.2%増となった。市報に加えてSNSや佐賀市公式スーパーアプリを活用した市の取組の積極的な発信や、個々の事業の歳出削減の取組等が、市民ニーズに沿った施策の実施につながったと捉えている。
- ・「行政経営推進プラン進捗率」：証明書の「コンビニ交付の割合」やAI等の最新技術の活用による「業務削減時間」などは目標値を超過しており、目標に対する進捗率は令和4年度以降は、全体平均で90%を超えおおよその目標を達成している。一方で、「年間時間外勤務時間数が360時間を超える職員数」など数項目については、目標値に達成できておらず引き続き次期計画やプランにおいて取り組んでいく必要がある。

#### 6. 今後の方向性（第3次佐賀市総合計画への反映など）

- ・R7に「スマート行政の実現」「自己変革力の強化」「未来志向によるポジティブシンキング」を意識したスマート行政推進プランを策定、社会変化を改革の転機と捉え、多様なニーズに対応し市民満足度を高める行政経営を目指す。また、行政評価手法を見直し、より効果的・効率的な行政経営を目指す。
- ・全支所でのリモート窓口の開始、さらなる書かないワンストップ窓口の展開、佐賀市公式スーパーアプリを市民との常時接点として位置づけ、多様なサービスを提供し機能強化を目指す。
- ・R9に新たな公共施設等総合管理計画の策定、それに伴いより具体的な内容の公共施設等総合管理実施計画（アクションプラン）を作成し、全庁的な再編等の検討を進める。